

### 【短報】チュウジョウケシタマムシの渡嘉敷島からの記録

チュウジョウケシタマムシ *Aphanisticus okinawanus* Ohmomo, 2004 (図1) は、沖縄島与那で得られた個体に基づいて、Ohmomo (2004) により記載されたタマムシ科甲虫であり、沖縄島のみ分布している (大桃・福富, 2013)。今回、沖縄諸島の渡嘉敷島から採集された本種の標本を確認したので報告する。

1♀, 沖縄県島尻郡渡嘉敷村渡嘉敷島森林公園, 26.

III. 2014, 保科英人採集, 福富保管 (図1).

照葉樹林のリターより採集した標本から、本種を確認した。

発表にあたり、本種の標本を恵いただいた福井大学の保科英人博士、標本撮影について助言いただいた石川県ふれあい昆虫館の渡部晃平氏に感謝する。



図1. チュウジョウケシタマムシの成虫。

### 引用文献

- Ohmomo, S., 2004. Buprestid beetles (Coleoptera: Buprestidae) new to Japanese fauna (Part 2). The Entomological Review of Japan, Osaka, 59 (2): 135–143.  
大桃定洋・福富宏和, 2013. 日本産タマムシ大図鑑. 206 pp. むし社, 東京.

(福富宏和 920-2113 白山市八幡町戊3 石川県ふれあい昆虫館)

### 【短報】徳之島におけるオオゾウムシの記録

オオゾウムシ *Sipalinus gigas gigas* (Fabricius, 1775) は、日本 (伊豆諸島, 対馬, 琉球を含む), サハリン, 東シベリア, 朝鮮半島, 台湾, 中国, 東南アジアに広く分布する (小島・森本, 2004)。琉球列島においては、沖永良部島, 沖縄島, 古宇利島から記録があり、徳之島の記録はない (佐々木ら, 2002)。筆者は徳之島で本種を採集しており、同島初記録と思われるので報告する。

1ex. 20. X. 2016, 鹿児島県天城町平土野; 1ex. 20. X. 2016, 鹿児島県天城町亀津 (図1)。いずれも筆



図1. 徳之島産オオゾウムシ。

健志・木村正明・河村 太編, 増補改訂琉球列島産昆虫目録. 沖縄生物学会, 西原.

(小浜継雄 901-2216 宜野湾市佐真下28)

者採集。なお、これらの標本は琉球大学博物館 (風樹館) に収蔵されている。

上記の2個体はいずれも灯火で採集したものである。

### 引用文献

- 小島昭昭・森本 桂, 2004. 日本産ゾウムシ上科のオンライン目録とデータベース. 九州大学総合研究博物館研究報告, (2): 33–147.  
佐々木健志・木村正明・河村 太, 2002. コウチュウ目 (鞘翅目). pp. 157–284. In: 東清二 監修, 屋富祖昌子・金城政勝・林 正美・小濱継雄・佐々木

### 【短報】沖縄島初記録のムツキボシテントウ

ムツキボシテントウ *Oenopia scalaris* (Timberlake, 1943) は、日本 (本州, 伊豆諸島, 九州, 小笠原諸島), 朝鮮半島, 台湾, 中国, インドシナ半島, ミクロネシアに広く分布する (佐々治, 1985; 日本環境動物昆虫学会, 2009) が、これまで琉球列島からの記録はない (佐々木ら, 2002)。筆者らは沖縄島で本種を採集しているので報告する。



図1. 沖縄島産ムツキボシテントウ。

1ex. 27. III. 2017, 沖縄県恩納村万座毛 (図1)。小浜継雄採集。標本は琉球大学博物館 (風樹館) に収蔵されている。

比較的目立つ本種がこれまで琉球列島から記録がなかったことから、